

2017年度 法政大学大学院 社会学研究科

社会学専攻 修士課程 学内入試 入試要項

I. 募集人員

定員の2分の1以内（定員は20名）

II. 出願資格

法政大学の学部4年次に在学している者（2016年9月卒業見込の者または2017年3月卒業見込の者）で、学部3年次までに、卒業に必要な修得単位数のうち、100単位以上を修得し、かつ、GPA 2.5以上の者。

GPAの計算は下記の式による。2007年度までに取得した単位については、A(3点)、B(2点)、C(1点)の評点の単位のみを対象として、同様に計算に入れること（2007年度までは分母にD単位数、E単位数を含まない）。

なお、認定科目および教職・資格科目はGPAの計算には含まない。

$$\text{GPA} = \frac{\text{A}^+ \text{単位数} \times 4 + \text{A} \text{単位数} \times 3 + \text{B} \text{単位数} \times 2 + \text{C} \text{単位数} \times 1}{\text{A}^+ \text{単位数} + \text{A} \text{単位数} + \text{B} \text{単位数} + \text{C} \text{単位数} + \text{D} \text{単位数} + \text{E} \text{単位数}}$$

※分母に含まれるD単位数、E単位数は、2008年度以後のみの単位数を含める。

III. 出願手続

1. 入学検定料 35,000円

出願期間内に検定料を納入してください。振込依頼書を用い銀行から振込を行うか、別紙の手順に従い「オンライン決済(クレジットカード)」もしくは「ネット受付店頭支払い(コンビニエンスストア)」にて検定料を納入してください。なお、一度納入された検定料は返金できませんのでご注意ください。

2. 提出書類 ※一度提出された書類の差替えや返却はできませんのでご注意ください。

(1) 受験票 (様式1 C票)

(2) 入学志願票 (様式2)

(3) 入学試験面接カード／履歴書 (様式3)

「入学後の希望指導教員名」、「入学後の研究テーマ」欄は記入不要です。

※(2)(3)の提出にあたり、募集コースが社会学コース、メディアコースとなっておりますので、選択して記入してください。

(4) 成績・卒業見込証明書

※編・学士入学している者は、編・学士入学前の成績証明書1通も提出してください。

(5) 卒業論文の素案要旨：2部（400字詰め原稿用紙換算で20枚程度）

なお、卒業論文が規定にない学部については、それに匹敵すると考えられる研究論文についての素案を提出すること。

※詳細については、別紙『社会学専攻学内入学者選考試験・卒業論文素案要旨・執筆要項』に従って作成してください。

(6) 住民票 (外国人のみ)

※在留資格、在留期間が記載されているもの（この2点が省略されているものは不可）

(裏面あり)

3. 出願方法

(1) 出願期間 2016年6月15日(水)～6月22日(水)

(2) 提出先

①法政大学 大学院事務部 大学院課市ヶ谷担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-15-2 Tel 03-5228-0551

取扱時間 月～金 9:00～11:30、12:30～16:00 土 9:00～12:00

②法政大学 多摩事務部 社会学部事務課

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

取扱時間 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00

Ⅲ、2の提出書類を直接大学院事務部(市ヶ谷)または社会学部事務課(多摩)に提出してください。または、所定の封筒(切手貼付)により、大学院事務部へ郵送することもできます(速達簡易書留、締切日消印有効)。

Ⅳ. 試験

1. 口述試験

(1) 日 時 2016年7月5日(火) 11:00～(予定)

(2) 試験場 法政大学 多摩キャンパス社会学部棟
詳細は後日送付する受験票を参照してください。

2. 合格発表

2016年7月13日(水) 10:00

3. 合格発表方法

インターネットおよび携帯Webによる合否発表
(掲示や電話での発表は行いません)

合格者には合格通知書および入学手続書類を速達で郵送します。

Ⅴ. 入学手続期間

2016年7月14日(木)～7月22日(金)

入学手続期間内に学費を振り込み、所定の封筒を使用のうえ、手続書類を大学院事務部大学院課に郵送してください(速達簡易書留、締切日消印有効)。期間内に学費の振込、および手続書類の提出が完了しない場合は、入学の意思がないものと扱いますのでご注意ください。

以 上

【問い合わせ先】

法政大学大学院事務部大学院課

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-15-2

Tel : 03-5228-0551

E-mail : i.hgs@ml.hosei.ac.jp

社会学専攻学内入学者選考試験・卒業論文素案要旨・執筆要項

1. 卒業論文素案要旨の分量は400字詰め原稿用紙換算で20枚程度とする（図、表、注、引用文献は含まない）。
2. 原稿の書式については、以下の原則に従う。
 - (1) 原則としてパソコンを用い横書きで作成すること。1ページは40字×36行として構成すること。なお、論文は返却しないので、各自でコピー等の控えを作成しておくこと。
 - (2) 英数字には半角文字を用いる（原稿用紙の場合は1マスに2字）。
 - (3) 図、表、注には、通し番号をつける。
 - (4) 注と引用文献リストは別々に作成し、論文の末尾に添付すること。
なお、注は通し番号順、引用文献は著者名のアルファベット順に記載すること。
 - (5) 本文・注において引用文献を挙げる場合は、下記の例のように、著者名・編著者名、発行年、ページ数を記載する。なお、翻訳書を挙げる場合は、原書の発行年と翻訳書の発行年の両方を記載すること（例：1964=1974）。

例1：著者名の後に表示する場合

「Blau(1964=1974：125-154) は民主化の第3の波の促進要因を挙げている。」

例2：文末に表示する場合

「ポスト工業化の影響で、社会制度や人々の社会行動の変化が起こってくる
(Blau,1964=1974：125-154)。」

- (6) 引用文献は下記の例を参考に記載すること。書籍の場合は、著者名、発行年、題名、出版社、ページの順に記載する。学会誌論文の場合は、著者名、発行年、題名、学会誌名、号数、ページの順に記載する。なお、各項目の間にはカンマ(,)を入れること。また、邦文の書名・誌名は『 』で、論文名は「 」でくくり、欧文の書名・誌名には下線を引くこと。

例1：学会誌論文等

邦文：久慈利武,1985,「秩序問題への個人主義アプローチの可能性」,
『理論と方法』,6-1,1-20.

欧文：Abramson,P.R.& Aldrich,J.H.,1982,The decline of electoral
participation in America, American Political Science
Review,76,502-521.

例2：書籍

邦 文：三宅一郎,1995,『日本の政治と選挙』,東京大学出版会.

欧 文：Blau,P.M,1964,Exchange and Power in Social Life,John Wiley&Sons.

翻訳書：Blau,P.M,1964, Exchange and Power in Social Life,John Wiley& Sons.=1974,間場寿一・居安正・塩原勉（訳）『交換と権力—社会過程の弁証法社会学』,新曜社.

例3：論文集の中の論文

邦 文：山岸俊男,1991,「社会的交換と社会的ジレンマ」,盛山和夫・海野道郎（編）『秩序問題と社会的ジレンマ』,ハーベスト社,227-257.

欧 文：Milbrath,L.W,1981,Political participation,In Long,S.L(Ed.)
The handbook of political behavior, Vol.4,Plenum Press,197-240

(7) 統計的な図と表には、本文の説明を探さなくても意味を理解できるように、明確な説明をつけること。

(8) 数学的な証明が省略されている箇所には、その箇所の議論を正当化するための完全な証明を添付すること。

3. 論文の作成にあたっては、「論文作成の手引き」（法政大学社会学部・合同ゼミ合宿委員会,2009 改訂）などを参照しておくことが望ましい（大学院事務部および社会学部事務課窓口で配付する）。

以 上